

## 別紙様式2

### 平成25年度「使える英語プロジェクト事業」公開授業および研究協議の要旨

市町村名 交野市

実践研究校名 星田小学校

【公開授業】公開日：平成26年3月4日

対象学年：第5学年

(教材・教科書名)  (単元名) Adventure of 星田	(本時の指導の目標) ・グループで協力して助け合いながら、質問や課題内容を理解しようとしている。 ・積極的に既習の英語表現を活用しようとしている。
---	---

(本時の授業において工夫した点)

- ・多くの活動を準備し、できるだけたくさんアウトプットができる環境にしたこと。
- ・Pardon?/Please help.などを用い、友達や指導者に手助けしてもらえるようにしたこと。
- ・本時で安心して活用できるように日々の授業の中で表現等繰り返し指導を行ってきたこと。

(授業後の振り返り)

児童の感想で「初めての人やたくさんの先生と会話できて楽しかった。」「英語を習っていないので発音に不安があったけれど楽しめた。」「グループで助けてもらえたから楽しめた。」また、「4月当初から考えるとたくさん聞けて話せるようになった自分に気付いた。」など英語を活用した喜びの声がたくさん上がっていた。

【研究協議】

(テーマ) 小中連携を意識した外国語活動について	(指導・助言者) 交野市教育委員会 指導課 古川 雅之 指導主事
-----------------------------	--

(研究協議で出された意見)

- ・小学校の外国語活動で行われている内容を中学校ともっと共有するべきである。
- ・校区により活動内容に違いがあるので、市内で同じ方向性を持つよう研究を行っていくことが重要である。

(結論又は要約)

1. 小学校と中学校の指導目標を意識した上で、目的を明確にし、目標設定をすることが大切である。
2. 小学校区で統一して指導している内容（挨拶の仕方やアイコンタクト、ナイススマイル、クリアーボイスなどのルール）を中学校で把握して、入学後の指導に生かす。